

令和4年度北区立西浮間小学校 学校アンケートまとめ

北区立西浮間小学校長 小島 みつる

学校教育目標	自ら育つ子	指導の重点	「主体性と創造力」の育成
--------	-------	-------	--------------

I 自己評価の結果と分析

「当てはまる」＝4ポイント 「だいたい当てはまる」＝3ポイント 「あまり当てはまらない」＝2ポイント

「当てはまらない」＝1ポイント

数値は平均 3ポイント以上を肯定的評価、3.6ポイント以上を目標達成、3ポイント未満は課題有り と捉える。

回答者数 学校教職員…31人 保護者…596人（対象数の87.4%） 児童…677人（全学年）

	評価項目	教員	児童	保護者
児童の状況	1 児童は、学校生活を楽しんでいる様子が実感できる。	3.5	3.5	3.5
	2 児童は、学級や学校内でのよい人間関係がつけられている。	3.2	3.7	3.6
	3 児童は、意欲的に学習に取り組んでいる様子が実感できる。	3.2	3.3	3.2
	4 家庭での学習課題(宿題を含む)を提示することによって、家庭学習の習慣が定着してきている。	3.0	3.6	3.2
	5 授業中の姿勢、態度、学習用具等の指導を徹底し、学習規律が確立できている。	2.9	3.3	3.0
確かな学力	6 授業改善プランを生かし、児童が楽しく分かりやすい授業を行っている。	3.1	3.6	3.4
	7 学校教育目標「自ら育つ子」を目指し、体験活動や問題解決学習の充実・改善を行った。	3.3	3.5	3.3
	8 児童個々に応じた学習指導(算数少人数指導を含む)を実施している。	3.3	3.5	3.3
	9 児童は、学年相応の基礎的・基本的な学習内容が身に付いてきている。	2.9	3.5	3.2
	10 読書活動の指導を重視し、児童は読書習慣が身に付いてきている。	3.2	3.1	2.5
	11 きたコンを活用した授業や家庭学習を積極的に実践した。	3.2	3.7	2.9
	12 「授業のユニバーサルデザイン」を意識し、特別支援対象児への配慮を考え工夫した。	3.3		
豊かな心の育成	13 時間を意識するよう指導を行い、児童は時間を守って学校生活を送っている。	3.3	3.4	3.1
	14 生活指導を徹底し、児童は、「西浮っ子の一日」や学校のきまりを守った生活ができている。	3.0	3.6	3.3
	15 児童は学校で整理整頓をする習慣が身に付いている。	2.6	3.3	2.5
	16 挨拶や言葉遣いについての指導を行い、効果を上げている。	3.1	3.5	3.0
	17 道徳の授業など、道徳教育は全教育活動で計画的に実施し充実している。	3.2	3.3	3.3
	18 いじめを絶対に許さないという強い姿勢で指導の徹底を図っている。	3.6	3.6	3.3
	19 人の気持を考え思いやりのある行動を目指した活動・指導を意図的に行った。	3.5	3.5	3.2
	20 学級目標を設定し、児童の自主的・実践的な力、よりよい人間関係を形成する力を高めた。	3.3	3.5	
	21 「自ら育つ子」の育成を目指し、「主体性」と「創造力」を高める指導の工夫を図っている。	3.3		
健康安全	22 体育的な活動、保健や給食の指導等は、計画的に実施し健康づくりを進めている。	3.1	3.4	3.4
	23 避難訓練では事前・事後指導を徹底し、計画的に安全指導を実施している。	3.5	3.8	3.5
	24 常に学校施設や学習環境の安全を確認・確保し、整理整頓や美化に努めている。	3.2	3.5	3.4
特色	25 さくら草一人一鉢栽培の活動を通して、地域や自然への愛着が深まっている。	2.8	3.7	3.3
	26 縦割り班活動は、計画的に実施し、思いやりの心やコミュニケーション力が育っている。	3.2	3.2	3.3
	27 各行事では、事前・事後の指導を徹底し、自主的・実践的態様の育成に努めている。	3.4	3.6	3.6
連携	28 児童理解に努め、個に応じた指導をしている。	3.4	3.3	3.2
	29 児童相互のトラブルや悩み等には迅速・適切な指導・対応(報・連・相)している。	3.3	3.5	3.3
	30 学校公開や授業参観、各行事を通して、開かれた学校づくりを進めている。	3.3		3.5
	31 各種お便りを通じて保護者や地域に児童の様子や学校の取り組みを伝えている。	3.4		3.4

◇全体として、児童は素直で子供らしい自己肯定感をもち、友達と仲良く楽しく学校に来ている様子が覗える。ただし、実態は教員・保護者の評価が適当だと思われる。教員の自己評価が低いのは、実践しているかではなく、結果を出しているかを問うているので、児童・保護者よりも自己評価が低くなりがちである。

1 「児童の状況」について

○1 昨年に引き続き、コロナ禍での教育活動が続いているが、感染予防対策を図った上でほぼ通常通りの学校行事を実施してきたので、児童が活躍でき楽しく仲間と取り組む様子が多く見られた。学校行事に目的意識をもたせながら取り組ませた成果と言える。

▲1 「学校が楽しい」と思っていない児童は各学年6～13人。学年があがると増える、というわけでもない。低学年はそのときの気分も関係していると思われる。

理由は「勉強が嫌い」「学校に行くのが面倒くさい」⇒コロナ前とコロナ時代で変化が感じられる。前は、人間関係。今は、「めんどうくさい」が増えている。これらの児童が少しでも減るように、児童理解を深め、教育活動を工夫していく。

▲5 児童は比較的できていると考えている傾向があるが、児童と教員とで意識の乖離が見られる。特に課題のある児童について家庭と連携しながら学習に向かう姿勢について指導を継続していく。

【保護者から】※「多数」は5件以上 ⇒緑字は学校の回答

○毎日楽しく学校に通っています。(同様多数)

○困ったことがあった際に、先生方が迅速に対応してくださるので安心して子供を通わせることができ感謝しています。(同様多数)

▲児童を怒る際、あまり声を荒げないでほしい。怒られていない他の子もいやな気持ちになる。叱ると言うより怒鳴り散らしているように見える。(複数)

⇒皆の前で叱る内容なのか、個別の指導がよいのか、また、大声を出す必要があるのか、教師の言葉遣いは適切か等々感情的にならずに冷静に判断して指導していくことを職員で共通理解しました。

▲先生方は、指導・相談自体はしていても、業務が膨大なためか表面的なものだけになり、真剣に相談に乗ることや理解する余裕はないように見受けられる。

・最近、一部の子達の色々なトラブルが目立っていて気になります。先生方は一生懸命対応してくださっているのがとても感じられます。本当に対応して下さりありがとうございます。うちの子は煽られたり、乗せられるとすぐに調子に乗るタイプなので、なるべくそういうトラブルを避ける為に対応してくださっているといます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

⇒保護者の方々の思いをしっかり受け止め、また、学校側の対応策等を丁寧にお伝えすることを大切に、学校教職員と保護者が車の両輪になれるよう、努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

2 「確かな学力」について

○8 教員・児童が共に0.2P上昇している。きたコンの活用により個に応じた指導や学習課題に取り組みやすくなったことも一因として考えられる。また、今後も算数少人数指導の充実を図り、課題解決型の授業を展開し確実に学力定着を図っていく。

○10 例年課題であった読書活動は教員・児童ともに大幅に上昇した。毎月1回開催の読書活動推進委員会、児童委員会の新たな取組みの成果と言える。家庭での読書を促進するための実践を増やし、更なる読書活動の充実を図っていく。

○11 「きたコン」の活用について教員は0.2P上昇。全学年・全学級・全専科で活用できている。今後は、学力向上に効果的な活用をすること、児童が家庭学習でも活用できるよう主体的な活用の実践を図っていく。また、「情報モラル」及び根本的な「モラル」の育成・向上が大きな課題である。

【保護者から】※「多数」は5件以上 ⇒緑字は学校の回答

○丁寧なわかりやすい授業をありがとうございます。(同様多数)

○出席停止中のオンライン授業がありがたかったです。(同様多数)

▲北コンでの宿題(特に算数)はあまり効果がないように思います。

▲北コンを宿題ではない日も毎日持ち帰るのはなぜでしょうか。

▲現在の学年では、北コンでできることが少ないため、家庭学習では利用する意味がありません。

⇒きたコンについては、本校では全学年・学級・専科で活用しており、「ただ使えば良い」レベルではなく、学力向上に生きる使い方を意識して取り組んでいます。今後も効果的な活用を目指してまいります。きたコンの充電は各家庭にお願いしているため、持ち帰りが必要となります。

3 「豊かな心の育成」について

▲15 全項目の中で「整理整頓」の評価が一番低い。設問 24 の校内整備・美化についてはそれほど低い評価ではないので、保護者と連携を図り、児童個々の整理整頓について実践的な指導を工夫し、改善を目指していく。

○16 「あいさつ、言葉遣い」も例年の課題であったが、教員・保護者とも昨年度より大きく上昇した。全校朝会、学級指導での継続した指導を行ってきた成果といえる。今後も、これまでの取組みに加え、児童主体の活動や家庭との連携を工夫し、よりよい指導を続けていく。

○17 「道徳教育」については教員・保護者の評価がそれぞれ 0.3 ポイント上昇しており、道徳授業や教育活動全体を通じての道徳教育の成果の現れと言える。

○18 「いじめ対応」については教員・児童ともに 0.4 ポイント上昇している。「いじめ」の定義が教員に浸透し、児童にも指導が十分されていることが伺える。いじめの早期発見、未然防止に努め、今後も継続して指導していく。

▲19 「思いやり」は三者とも 0.1~0.2P 低下した。他者意識をもつこと、相手の立場に立って考えることは、他者とのつながりが希薄になったこと 2~3 年の影響を受けているかもしれない。だからこそ、その影響も考慮した教育活動の実践が必要とされていることを受け止め、教育実践に取り組んでいく。

【保護者から】※「多数」は 5 件以上 ⇒緑字は学校の回答

○友達関係のトラブルも素早く解決していただけた。(複数)

○先生方が各行事への思いを熱くなるように子供たちへ促している様子がとても伝わります。本当にいつもありがとうございます。(複数)

▲子供たちのトラブルを見逃している。(複数)

▲子供同士のトラブルや一部の子の日常的によくない言動が目立っており気になります。子供一人一人が楽しい学校生活を送れるようにしていただきたい。(複数)

⇒学校では「全教員が全児童の担任」という意識で子供たちに関わっていますが、全てを把握することはできていないのかもしれませんが。本人も、また周りの友達も先生に相談できる雰囲気や醸成し、一人一人の思いを大切にしていきたいと思います。ご家庭で気付かれたことや児童からの情報がありましたら、遠慮せずにお知らせください。

▲頭では理解しているだろうが、どういったことが「いじめ」になるか等、視野の広さや相手のことを想像する力、己の言動を省みる力が育っていなければ表面的になってしまう。また、「正しい行動」とは何か、主観的・客観的に正しく見えても、相手を追い詰めることもある。

▲高学年での SNS トラブル、きたコン活用時のセキュリティに関わる問題等、学校では低学年の内からしっかり指導して欲しい。また、学校に限らず、大人でも個人で意識の差が大きいと感じる。教員・保護者もより意識を高め、子供たちに指導していく必要があると考える(複数)

⇒情報リテラシー・情報モラルの前にまず、いじめも含め一般的な「モラル」である「人がいやがることはしない・言わない」「相手の気持ちを考える」の指導を重点にして取り組みます。その上で、ICT 活用で必要なモラルやリテラシーを学年に応じ計画的に指導してまいります。情報に関わっては、多くの人へ大きな影響が出ることが予想できます。保護者の皆様のご理解とご協力も重要ですのでよろしくお

願います。

4 「健康安全」について

○22 「体育的活動」23「避難訓練」は、コロナ禍の中感染対策を講じた上でできるだけのことを実践し、児童・保護者からも肯定的な評価が得られている。

▲24 設問 15「整理整頓」とも関連するが、保護者・学校評議員から教室美化については学級格差が大きいことを指摘されているので、今後は全教職員の意識を高め、児童の整理整頓の指導とあわせて学校美化に努める。

【保護者から】※「多数」は5件以上 ⇒緑字は学校の回答

・今後も安全・健康面への配慮をお願いします。

▲登下校中に危ない行動をしている児童を見かけることが多く、家庭での指導が重要だと感じる。

⇒集団登校へのご理解とご協力に感謝しております。今後も児童の安全のために学校・保護者の皆様で必要なことは指導し、見守ってまいります。

5 「特色ある教育」について

○25 「さくら草栽培」に関しては三者とも大きくPが上昇した。(児童は0.9Pも上昇)3年生が土作りを行い、当日の会の準備も中心になって行う等、児童が主体的に活動できる場面を増やしてきたことで、児童も教員も意識が高まってきた。次年度以降も地域と連携し、浮間圃場の見学と保存会とのふれ合いや「直接的な栽培」という点で児童の主体的な活動になっていくことを考えていく。

【保護者から】※「多数」は5件以上 ⇒緑字は学校の回答

○授業を通して学力をつけることはもちろん、社会性を育てる授業の充実も今後とも期待しています。(複数)

○さくら草のイベントやモルック大会等のイベントもたくさんあり、公開授業では句会があったり、とても考えて作られていると思います。

○明るく開かれた学校という印象が強い。他校に比べ、学校公開の機会や行事公開が多く、保護者と児童が共に体験でき、感想を共有できる場が多くあるのは素晴らしい。(複数)

▲さくら草の芽分けはするが、もっとも綺麗に咲いている時期に時間をとって観察したり、花に囲まれて愛でる時間が設けられていない。スプリンクラーが育てているだけという印象です。もう少しさくら草に愛着がわくように工夫した方がいいと思う。

⇒さくら草の取組みでは、地域のさくら草まつりに参加したり、3年児童が土作りを行ったり、栽培委員会児童が集会の計画や司会を担当したり等、児童が主体的に活動できる場面を増やす工夫を行っています。雑草抜きなどの日常的な活動を継続させるなど、今後も「栽培」という点で児童の主体的な活動になっていくよう考えていきます。

6 「家庭・地域との連携」について

○29「個に応じた指導」「トラブル対応」については教員・児童・保護者ともに概ね肯定的評価である。今後も教員一人一人が自らの指導を見直し改善し続けていく。

【保護者から】※「多数」は5件以上 ⇒緑字は学校の回答

○勉強法やコミュニケーション法、母親のケア、と大人数の子供たちを抱えながら丁寧に話していただき、とても心強いです。(同様複数)

○運動会ではパブリックビューイングがあるなど、工夫や配慮の行き届いたイベント作りをされていて、先生やPTAの方々には感謝しています。

▲お便りを見られるアプリが欲しい。

▲欠席連絡や手紙はメールで送って欲しい。(複数)

▲持ち物の準備が急だと難しいので余裕をもって連絡をして欲しい。また、用意するものがある場合は先生

からお手紙を配布してほしい。

⇒配布物を全てデジタル化することは、まだ、保護者全員が対応できることではないと考えています。紙配布とホームページでの公開を次年度も継続していきます。

持ち物については、学年に応じて学年便りや、児童の連絡帳、配信メールで丁寧に対応していきます。

▲各教科、どんな学習をすすめているのか、もっと知りたい。

▲学校ホームページの充実化をして欲しい。保護者、地域、これから入学を控えている保護者などへ広く情報発信をして西浮小のことを知れる機会を作って欲しい。

⇒ホームページの更新率を高め、適時適当な内容を公開できるよう努めてまいります。

※PTA 活動への要望等は、PTA 本部役員の方々にお伝えします。

II 改善の方策

◎ 児童がこれからも高い自己肯定感を持ち、仲間と仲良く楽しく学校生活を送れるよう、全教職員が全児童の担任という意識をもって教育活動を進めていく。

課題1 【確かな学力の定着に向けて・・・主体的に学ぶ力を伸ばすための授業改善】

- ・実践研究を中心とする校内研究を推進する。
- ・授業観察、校内研究授業、ファミリー研究授業、年次研修、理科・ICT アドバイザー授業等の機会を活用し、全教員が年5回以上の指導案を作成した授業を実践し互いに見合うとともに内1回以上はビデオに撮り検証、具体的な授業改善に生かす。
- ・「一斉指導＜相互作用のある対話的な学び」を目指し、教師がファシリテーターになることを意識した授業づくりを推進する。
- ・学力向上に生きる「きたコン」の活用に係る研修を充実する。

課題2 【確かな学力の定着に向けて・・・全教育活動通して語彙を増やし、表現力を高めるための授業改善】

- ・学年に応じた内省を意識した日記指導を必ず実施する。
- ・学級目標や行事のスローガンに基づいた自己目標を設定・明文化させ、実践⇒振り返り（明文化）を確実に実践していく。
- ・日本語の美しさを知る俳句学習を全学年で実施し、各種大会に参加する。
- ・たくさんの形容詞・形容動詞・副詞等に触れさせ、「使える言葉」にしていく指導を工夫する。
- ・読書活動推進委員会で毎月の読書推進の取組を提案・実施する。

課題3 【豊かな心の育成を目指して・・・特別活動の充実と深い児童理解に基づく組織的な生活指導】

- ・いじめ〇を目指し、児童が安心して楽しく生活できる学校づくりを維持・推進する。
- ・生活指導面でいじめの芽を見逃さず組織的な取組を充実させていくことはもちろんだが、児童が楽しく学校生活を送るためには「わかる！楽しい！」と思える授業への改革・改善と、「学級のみんなで協力し主体的に学校生活を改善していく意識」の醸成と実際の行動変容を図るよう特別活動をさらに改善・充実していく。
- ・生活指導案件について、担任任せにせず、全児童に対して全教職員で対応する意識と実践力を高める。
- ・毎月始めの挨拶目標の指導徹底、児童会を中心とした児童の発意を生かしたあいさつ運動の実施、教員の挨拶改善に加え、家庭を巻き込んだ挨拶指導を工夫・実践していく。
- ・「正しく普通の学級活動」の完全遂行に取り組む。

課題4 【豊かな心の育成を目指して・・・「特色ある」教育活動の推進】

- ・さくら草の取組み⇒以下の改善・工夫を図り、自分の鉢への愛着を深め、さくら草活動の活性化を目指す。
毎年3年生が土作りやいのちをつなぐ会で中心になって活動することを継続していく。
地域のさくら草まつり期間に圃場の見学を3年生だけでなく他学年も積極的に実施する。
雑草抜きや肥料やりなど日常的な活動を確実に出来るようにする。
さくら草まつり、いのちをつなぐ会の実行委員会を募るなど児童の主体的な活動をうながす工夫をする。
- ・学校行事については、今後も児童の参画意識を高める工夫をし、進んで活動に取り組む姿勢を大切に育て

ていく。また、これまでの実践成果を生かし、特活部主導で「事前のめあて設定⇒当日⇒事後の振り返り」を全校で統一して学級活動(3)での指導を行う。

課題5 【健康で安全な学校を目指して】

- 整理整頓について、あるべき姿を写真で示すなど視覚化し、児童が改善意識をもって取り組めるよう日常的な学級指導・清掃指導等を継続していく。また、保護者との連携を図って指導を行っていく。
- 教職員は、常に教室環境を整え、整理整頓と教室美化を実践していく。
- 校内整備・校内美化の時間を設定し、全教職員で改善に当たる。日常的にも気付いたものが声を上げて、互いに注意し合える教職員集団を目指す。